

食物アレルギーがある子どもたちのポジティブな感情と経験

1. 研究の対象

アレルギー科外来に通院中で、卵・牛乳・小麦の食物アレルギーがある又は過去にあった、小学校5年生から高校3年生までの方。

対象となった方には個別に案内をしています。

2. 研究目的・方法・研究期間

食物アレルギーのある子どもが日々の食生活の中で経験する喜びや嬉しさといったポジティブな気持ちを感じる状況を調査し、幸福を感じるために必要なものや支援を明らかにすることが目的です。

保護者の方へのフェイスシートの記入（所要時間約10分）のお願いと、お子様への聞き取り調査（所要時間約30分）のご協力をお願いいたします。

2019年3月～12月に外来待ち時間や負荷試験の合間に行います。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

お子さんの診療録から、これまでの治療経過や検査データなどの情報を使用します。当日ご回答いただいたフェイスシートと聞き取り調査の内容を記録しますが、個人が特定できる情報を公表することはありません。

4. 外部への試料・情報の提供

得られた情報は、匿名化して名古屋学芸大学大学院栄養科学研究科に提供して、同大学内で解析します。個人が特定できる情報はアレルギー科内部のみで保管します。

解析した結果は、アレルギー関連の学会や論文で発表し、同大学における修士論文のテーマとする予定です。

5. 研究組織

研究責任者：伊藤浩明（副センター長兼総合診療科部長）

共同研究者：アレルギー科 高里良宏、松井照明、スタッフ一同

連絡先

あいち小児保健医療総合センター アレルギー科

愛知県大府市森岡町七丁目 426 番地 電話：0562-43-0500（代表）

アレルギー科秘書メールアドレス：allergy-secretary@cd5.so-net.ne.jp

共同研究機関

様式 5-2 研究情報公開フォーム (複数施設研究用)

名古屋学芸大学 大学大学院栄養科学研究科

愛知県日進市岩崎町竹ノ山 57 番地 電話 : 0561-75-7111 (代表)

教授 和泉秀彦

助教 榎村春江

学生 伊藤真菜 (メールアドレス : 18gn001@st.nuas.ac.jp)

宇理須クリニック 名誉院長 宇理須厚雄

-----以上